



(上)玄関扉を開けた瞬間に、リビング越しの海が見える。
玄関も余裕をもった空間でギャラリーのようなイメージだ
(下)傾斜地のため玄関は2階に位置する。敷地の入り口から玄闇までのアプローチはすべてAさんによる手づくりだ
というから驚かされる。制作期間は半年あまり、枕木のカットもみずからチェーンソーで行ったのだが

Aさんも東京から湘南に住み替えを決意してから、意中の敷地を入手するのに3年を費やしたそうだ。そうして手に入れた敷地は南、つまり海に向かつて傾斜する絶好の条件。海までの景観を邪魔するような建物もなく、周囲は緑が豊かな抜群の環境である。理想的な敷地を手に入れたAさんは、不動産会社に家づくりの相談をし、紹介されたのがワイズであった。

「玄関を入れつてすぐに海が見えるよ

うな間取りにしてください」とお願

いしました。それ以外にもお風呂は脚を伸ばせるゆったりした浴槽を探し回つたり、かなりわがままを聞いてもらいました」と妻。

建物は傾斜地を利用した2階玄関で、扉を開けるとそこは1階からの吹き抜け空間を中心とした、回廊状のLDKになつている。明るい日差しが降り注ぐリビングの外にはL字型にテラスがあり、ここは他者の視線を気にすることなくつろげるアウトドアリビング。寝室や浴室は1階に設けられているが、ここからも海が眺められる。湘南の絶景を常に見ながら生活できる、実に恵まれたAさんの住まいである。

01 ワイズ

神奈川・茅ヶ崎市

玄関の扉を開けた瞬間に海が見える、湘南絶景の家

ワイズ WORK

Aさんの家 神奈川・鎌倉市

本体工事費・3200万円

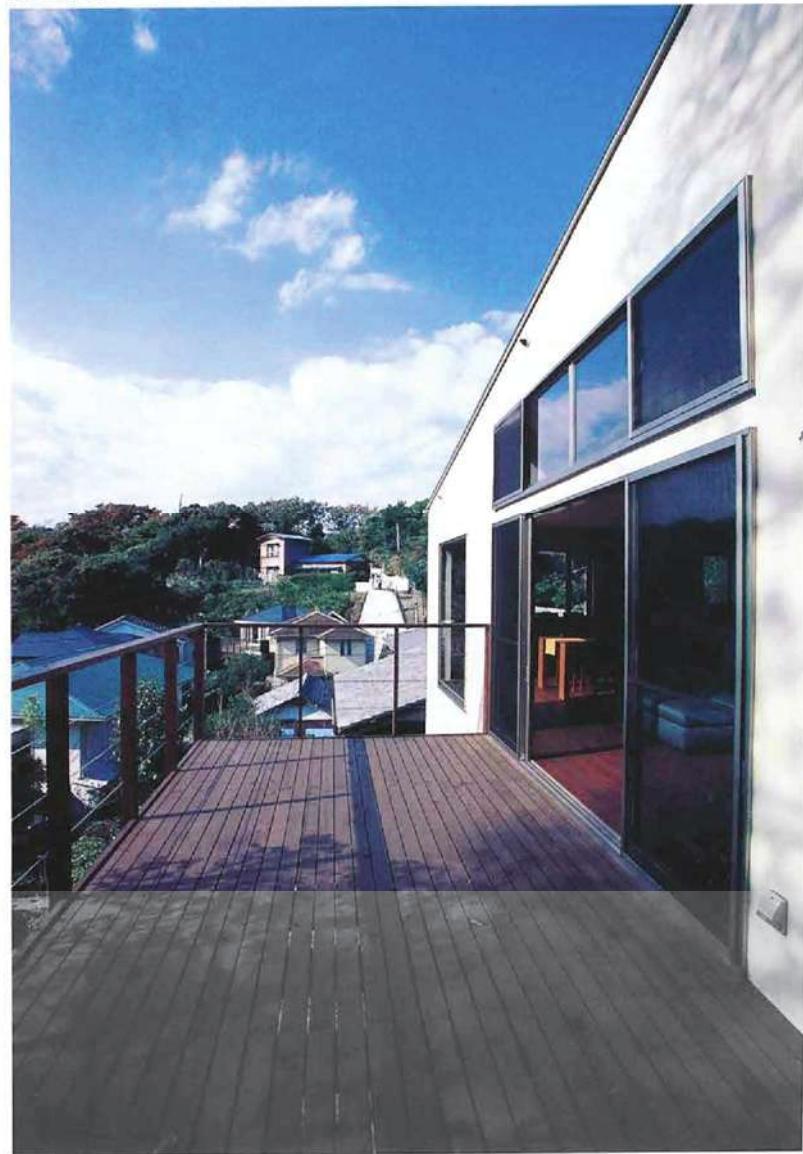
3.3m²単価・60.9万円

床面積・173.48m²

家族構成・夫40歳 妻36歳 長女3歳



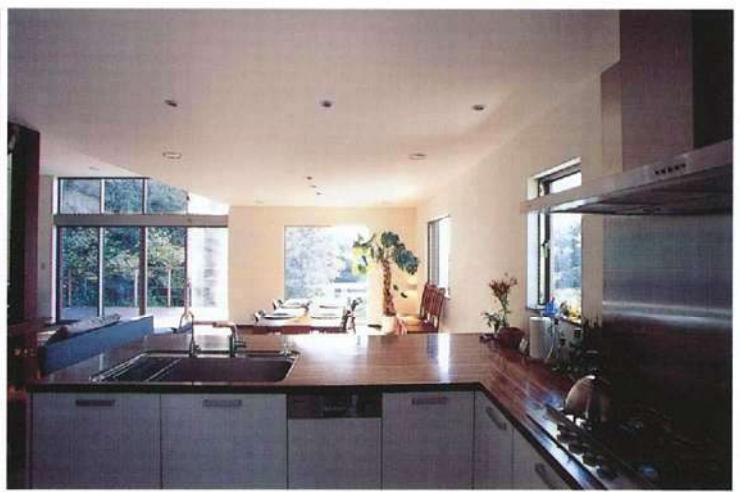
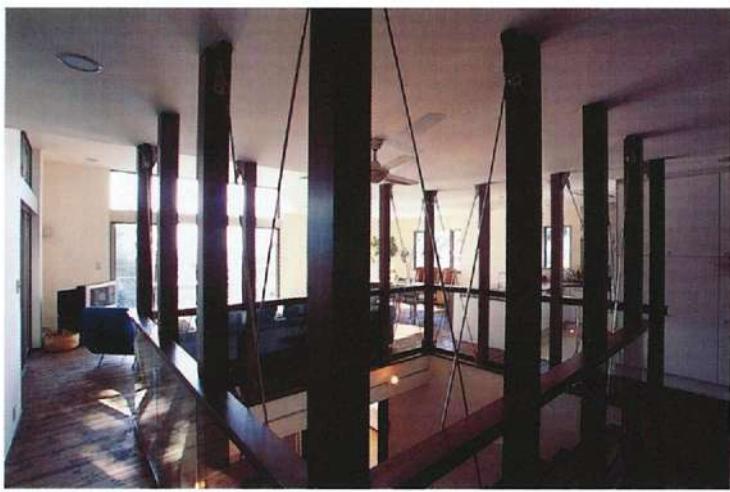
回廊状のリビングはかなりの大きさだが、窓を開け放つとテラスと一緒に、さらに豊かな空間となる。夏は海風がさわやかに吹き抜け、夕涼みに絶好の場所。友人を呼んでバーベキューをするにも十分な広さだ



間仕切りをなくして、大きな空間をとるというのもAさんの要望によって実現している。LDKのある2階部分はパントリー収納を除くと広い一室空間。とはいえ、リビングとダイニングのように性格の違う空間は天井の高さを変えて、視覚的な変化をつけている







(右)キッチンだけで10社から設計と見積もりをとったという、思い入れの強いキッチンシステム。ワークトップは空間の雰囲気に合わせたシルバーオールナットという珍しい素材。作業をしながら海が見えるように、当然天井付けの吊り戸棚はなし (左)2階リビングは1階とつながる吹き抜け部分を中心に回廊のようなつくりになっている

キッチンからでも海が見える。
フィックス窓はまさに
ピクチャーウィンドウだね



Aさんの家で一番の絶景はダイニングのフィックス窓からの眺め。鎌倉は材木座海岸ができる。Aさんの家では「食べるところ」、「くつろぐところ」、「寝るところ」を明快に分けてプランニングされている

(右ページ)浴室は1階の南側にあって、2方向に大きな窓がつけられている。もちろん窓外には緑と鎌倉の海が遠景で見える。バスタブは脚を伸ばして入れるものを探し回ってめぐりあったコーラー社製。海を見ながら入浴するように、角度も考えて設置されている





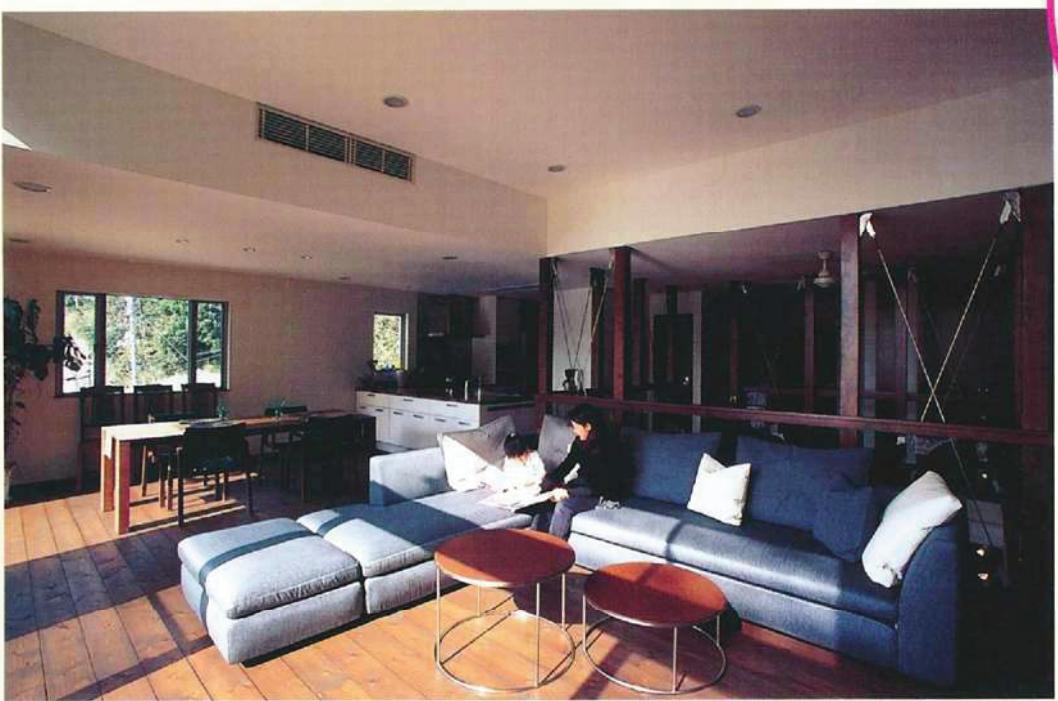
2階の開放感にくらべると1階は囲まれた安心感に包まれる。薪ストーブも設置されていて、冬はここがリビングとして機能しているのだそう。1階はこの空間を中心に、外周を個室が並ぶようプランニングされた

工務店からひとこと

1

Aさんの住まいは、敷地を見た瞬間にいい家が建つなど予感できました。東側には高低差のある崖が迫っていますが、これも敷地のうち。つまり、そちらからの視線

は気にせずにプランニングできるわけです。それにこの斜面には山桜が生えていて、春になると美しい花を咲かせます。これもプランニングに生かそうと思いました。



3歳になる娘は音楽の才能を開花させつつあり、なんとトランペットを吹くこともできる。住宅の建て込でないこの場所なら、音を出して練習しても苦情が来ることはない



社名／ワイズ
表記者／山本康彦
住所／〒253-0021

神奈川県茅ヶ崎市浜竹3-4-64
☎0467-88-3903
<http://www.ys-no1.co.jp/>

年間建築棟数／新築35棟
社員数／10名
平均坪単価／52.5万円
主な工法／木造軸組工法
建築地域／湘南地域を中心に神奈川県全域
建設立地／1993年
定休日／なし(年中無休)

うちは建主に要望をすべて挙げていただき、そこからできること、できないことを丁寧に説明しながら整理していく方法をとっています。Aさんの家の場合は、プランの変更で最も大きかったのは客間をなくしたことでしょうか。大きな空間を、希望だったの空間に仕切る客間はなくしたのですが、上下にフレキシブルな空間が生まれたので、来客にも十分対応できると思います。うちのボリュームは建主に白紙のキャンバスを提供すること。ただし、使う素材は十分に吟味した、質の高いキャンバスであることを心がけています。

もともと、当時の敷地の状況は古屋が建つ草ぼうぼうの荒れた傾斜地ですから、最初に高低差をどうプランに採り入れるか、それをクリアするのがなかなか難しかったですね。

(右)洗面室は浴室の隣でやはり南側に位置する。だから日当たり抜群の気持ちのいい空間だ。また寝室から直接出入りでき、使い勝手もよさそう。タオルなどを収納する棚は浴室を出た正面の壁に設置されている(左)落ち着いた雰囲気の1階リビング



D A T A

敷地面積／	292.38m ² (88.60坪)
床面積／	173.48m ² (52.57坪)
1階／	91.50m ² (27.73坪)
2階／	81.98m ² (24.84坪)
用途地域／	第1種低層住居専用地域
建ぺい率／	40%
容積率／	80%
構造／	木造軸組工法
本体工事費／	32,000,000 (キッチン・薪ストーブ別) 竣工／2005年12月

